

陽だまり

みんな
見てねん〜!



(きららおひさまこども園の園児たち)

目次

P1~2 防災特集

- ・地域密着4施設に
非常時の自家発電を整備
- ・太陽の園も非常用発電機を更新

P3~5 法人ニュース

- ・長善のさとグループホーム定員増床
- ・きららにこここ保育園1周年
- ・子育て支援センターへどうぞ 他

P6 利用者・職員のインタビューコーナー

- P7~8 各施設の活動紹介
- P9~10 皆さんからのアンケート結果報告
- P11 突撃インタビュー 他



もう安心です!!

災害時にも利用者の皆さんが
心配なく過していただくように
施設整備を充実させています。



1 「非常時の自家発電」を整備しました。

4施設(あさひ、さわらび、みなみよしだ、長善のさと)に



▶ 居間で団らんの利用者さんと職員(みなみよしだ)

近年、日本各地では地震・豪雨・台風等の災害が多発しています。

多くの人が施設を利用する吉田福祉会では、いつやってくるかわからない自然災害に備え、万全な対応が必要とされています。

地域密着施設(あさひ、さわらび、みなみよしだ、長善のさと)では、今まで規模な非常災害時になると停電などにより、利用者の生活に大きな支障がでると予想されていました。

このため、燕市補助金を活用し、ディーゼルエンジンによる非常用自家発電設備(燃料タンク60L内蔵・屋外設置)を4施設すべてに設置しました。

自由に移動できる 可搬型蓄電システム パワーイレ・スリーも設置

また、現在の冷暖房のガスヒートポンプエアコン(GHP)は使用電力量が大きいため、非常用発電機に接続することができないので、これをカバーするために、キャスター付きで自由に移動できる可搬型蓄電システム「パワーイレ・スリー」【机の下でも設置可能】も併せて4施設に2台ずつ設置しました。これにより、必要な場所に必要な冷暖房設備を使用できるようになりました。



▲ 整備された非常時自家発電機
(上/長善のさと、下/みなみよしだ)

総事業費6,248万円 燕市の補助金を十分に 有効活用して導入しました

非常用自家発電設備の事業費は、4施設合計で5,720万円。また、可搬型蓄電システムは8台合計で528万円。併せての総事業費は、6,248万円でした。

このうち燕市からの地域介護・福祉空間整備等施設整備補助金は6,184万円、十分な補助金を活用しての整備となりました。

災害のときも 安全安心となりました

毎日、多くの皆さんが利用している吉田福祉会の施設。そこでお世話をさせていただく職員。これで災害のときも、安全安心に生活することができるようになりました。

吉田福祉会では、みんなが笑顔で、そしてこの住み慣れた場所でも心配なく暮らしていくためにも、これからも施設整備を充実させてまいります。

災害のときも

2

太陽の園も「非常用発電機」を新しくしました。
キュービクル(高圧受電設備)も改造工事終了で万全な対応も完備



▶ 太陽の園2階の非常用発電機

特別養護老人ホーム「太陽の園」の非常用発電機は、平成元年の開設時に設置されたもので30年経過していました。今まで幾度となく点検整備を重ねてきましたが、全面的メンテナンスの必要性や増大する整備費用等から、このたび非常用発電設備を更新したとともに、キュービクル(高圧受電設備)も改造し、すべてが新しくなりました。総事業費は2,530万円です。このうち県の高齢者施設等防災・減災設備等整備補助金は450万円です。この整備も補助金を十分に活用しての整備となりました。



▶ 太陽の園

施設ごとに
災害行動マニュアル
も完備

吉田福祉会は現在、太陽の園をはじめ11の施設があります。

各施設では、置かれている環境や職員配置に基づき、「災害行動マニュアル」をしっかりと整えています。

この中には、火災・地震・風水害など災害時における組織体制や行動マニュアル、さらに平常時の災害対策として防災設備の点検、避難場所の確保などが盛り込まれており、随時、見直しを行っています。

また、各施設では消防署などの協力をいただき、利用者等も参加して避難訓練を実施しています。

これからも吉田福祉会は、利用者の皆さんが安全で安心して暮らしていただけるように万全な取り組みを行います。



吉田旭町一丁目自治会長
木村 新一さん

災害が発生した時は、お互いに助け合い連携を図っていこう…と、旭町は平成24年に吉田福祉施設「あさひ」と「災害時対応の協定」を結びました。

近くに「あさひ」があって、自治会として本当に助かっています。自治会避難訓練のときには、施設管理者から来ていただき意見を聞いたり指導をいただいたりなど協力してもらっています。

今度、非常用自家発電が設置されたということで、災害時の停電のときなどは「あさひ」へ行くこともできるので本当に大助かりです。

現在、旭町一丁目は73世帯、一丁目から四丁目全体で320世帯を超えますが、一人暮らしやお年寄り世帯が増えてきていて大きな課題となっています。

今後も自治会としては、地域住民みんなの安全安心を常に心がけ、横のつながり、そして絆を大切にしていきたいと思っています。

困ったときにはお互い「共助」の精神で助け合って

3 「長善のさと」グループホームの定員を増やしました

「みなみよしだ」も増床予定

法人の地域密着施設「さわらび、あさひ、みなみよしだ、長善のさと」では、認知症の方々をスタッフがサポートし一緒に暮らし宿泊する「グループホーム」と、通い・泊り・訪問のサービスをする「小規模多機能センター」が併設しています。

しかし、この4施設ではグループホームが定員に達し、入居待機者がかかり多く出ている状態です。反面、小規模多機能センターの宿泊利用者には余裕が生じていました。そこで、入居待機者の増加に対応するため、現状を加味し、県及び燕市の承認をいただき、次の対応を取らせていただきました。

【長善のさと】

- ・小規模多機能センターの宿泊室を、グループホームの居室に転用しました。
- その結果、グループホームの定員が、9人から3人増え、「12人」となりました。

【みなみよしだ】

- ・増築工事により、グループホームの居室を3室増床する予定です。
- その結果、グループホームの定員が、9人から3人増え、「12人」となる予定です。



▶長善のさと3周年祭

入居待機者の増加に対応するため

4 きららにこにこ保育園

地域に支えられ1年が経過しました

きららにこにこ保育園（定員170人）は、2度目の春を迎えました。昨年の4月、民営化で燕市から引き継ぎ一年。子どもたちの成長を、保護者の皆さんや地域の方々と一緒に見守ってきました。

英語教室や体操教室などの新しい体験、すみれ組は、カラーガードにも挑戦しました。この一年、子どもたちの笑顔があり、感動と新しい発見もあり、時には涙もありました。いつも目をキラキラ輝かせる子どもたちに、無限の可能性を感じてきました。

にこにこ保育園は、これからも地域の宝となる子どもたちを、みんなで大切に育んでいきます。



きららにこにこ保育園保護者

幸田記代子さん



あったかい雰囲気のにこにこ保育園

5歳の子どもがお世話になっています。保育園に通ってからは、以前は出来なかったことも、しっかりと出来るようになり、日々、成長していく姿に親として喜びを感じています。

にこにこ保育園は、雰囲気がとっても温かく感じます。先生方に、子どもの気になることを伝えるとすぐに対応していただき、本当にありがたいです。また、若い先生をはじめ、みんなが頑張っている様子に感謝しています。日々、大変でしょうが、これからもよろしく願いいたします。



5 保護者の皆さん一人ひとりに寄り添う 「子育て支援センターきらら」へいつでも気軽にどうぞ。



楽しい行事いっぱいの子育て支援センター

子育て支援センターきららは、入園前のお子さんとその保護者の方が安心して楽しく遊べる場所です。保育士と一緒に遊んで、手遊びや親子でのふれあい遊び、楽しい行事も毎月たくさん開催しています。4月は「はじめましての会」、5月は「こどもの日お楽しみ会」…と一年中、盛りだくさんの行事が計画されています。

また、おいでになったお子さん・保護者の方同士のお友達づくりの場にもなっています。子育てに悩んだり、子育てをもっと楽しみたい、そんな皆さんの「陽だまり」となるように、一人ひとりに寄り添っています。出産を控えた「プレママ・プレパパ講座」もあります。

イベント情報は、ホームページでも紹介していますので、確認のうえ、ぜひおいでください。子育て支援センターきららは、皆様のご来場をいつでもお待ちしております。センターに遊びに来れない皆さんのために、「訪問相談」もできます。お電話ください。



《保育・子育ての相談は…》

☎78-7804

きららおひさまこども園内

(吉田東栄町 34-10)

6 認知症の方への声かけ体験 吉田学校町自治会が勉強会を行いました



勇気を出して声かけ体験

吉田学校町自治会は、11月10日、認知症の方への声かけ体験と勉強会を行いました。

当日参加者は45名を超え、会館は満員状態。まず、吉田地区地域包括支援センター職員が認知症についての講義と声かけのポイントを説明し、具体的な声のかかけ方を寸劇で学びました。そして、いざ実践体験へ出発。

いくつかのグループに分かれて、勇気を出して実際に声かけ体験を行いました。参加した皆さんからは、「今回のような体験の機会がもっと広がっていいいなあ」との声が出ていました。



認知症について真剣に学びました

7 吉田南地区協議会 認知症サポーター養成講座



吉田福祉会では、吉田南地区協議会と共催で、毎年秋に「手と手」を開催しています。

これは、認知症サポーター養成講座として、地域の方々と一緒に認知症の対応を勉強しているもので、今年で8回目。参加者の皆さんは、みんな真剣なまなざしで勉強していました。

吉田南地区以外でも認知症サポーター養成講座の開催希望がありましたら、吉田地区地域包括支援センター(☎941-7676)までお問い合わせください。

8

法人内でキャリアパス研修

利用者のための知識や実践力を学び合っています



吉田福祉会では、職員がより高い専門的知識や能力を身につける「キャリアパス研修」を、昨年度から導入しています。

この研修は、高齢者福祉や障がい者福祉・児童福祉など、福祉の全分野に共通して求められる能力を開発するための基礎研修で、全国社会福祉協議会が開発したものです。

7名の職員が、指導者養成研修を受講し、その職員が法人内で講師となり研修を行います。初任者コース、

中堅職員コース、チームリーダーコースと分かれていて、段階的に学んでいく仕組みとなっています。

この研修を受講する前には、一人ひとりが事前学習に取り組みます。その後、2日間の面接授業を受け、自身のキャリアデザインシートを完成させます。その中で、自分の歩んできた道を振り返り、また新たな知識や体験を通して、自分の将来像を描くなど、その価値を高める機会となっています。

そのことが、自らが働き続ける力となり、ひいては福祉人材の確保・定着や利用者サービスの向上につながるため、吉田福祉会では日々、一生懸命研修に励んでいます。



▶ テーマに沿って、いろんな意見を出し合いました

9

日本子育て学会で成果を発表

「こども発達支援について」

きららおひさまこども園の4人の教諭



11月30日、東京都白百合女子学園で「日本子育て学会」が開かれ、きららおひさまこども園の4人の教諭が取り組み成果を発表しました。

この学会は11年目を迎え、研究者・支援者・保護者の三位一体的研究と実践のもと、縦のつながり横のつながりである世代間交流の在り方について考えるというもので、テーマは「地域にひらかれた子育て」です。参加者は、きららおひさまこども園の渡辺真由美、井上恵、松永秋咲、高嶋瑠莉4人の教諭とスーパードクターとして新潟青陵大学の齋藤勇紀先生。

発表内容は、今年度より配置したこども発達支援員と保育教諭の連携による発達支援の取り組みを職員へのアンケートを基に、こども発達支援員に対する評価や要望、さらに今後の課題等をポスター発表しました。きららおひさまこども園では、今後も研究・研修を重ね、幼児教育の専門性をさらに高めていきます。

10

法人の「年間カレンダー」を

吉田地区全世帯に配布しました



吉田福祉会では、福祉というものを少しでも身近に感じていただくとうと、今年初めて「年間カレンダー」を作成し、吉田地区全世帯や関係機関等に配布しました。

このカレンダーは、日ごろのご愛顧に感謝し作成したもので、かわいい6人のキャラクターがメインになっているA3版の大きさです。各家庭などで家族が集まる見やすい場所に貼っていただきます。



長善のさと利用者
河合マツイさん

何でも食べることが大事

「通い」で、週3回ほど長善のさとお世話になっています。色塗りをしたり、食器を拭いたりして楽しく過ごしています。職員の皆さんはとってもかわいい方ばかりで、みんな親切にしてください感謝しています。お蔭さまで、今は何にも心配ごとはないですね。

私は料理が好きで、すき焼きやカレーライスは得意です。日ごろから気をつけていることは、“好き嫌いしないで、何でも食べる”です。長生きの秘訣は、もちろん、何でも食べることでですね。

わがまま言わず、贅沢しないこと

主に「泊り」で、みなみよしだにお世話になっています。今は、普通に暮らせて幸せです。

日ごろから気をつけていることは、“贅沢をしないこと”、“一日三食、ちゃんと食べる”です。私は食べることが大好きで、長生きの秘訣は「きちんとご飯を食べること」です。

人間は、健康に気をつけていれば幸せに暮らせるし、病気もしない。わがまますべてはダメです。職員の皆さん、健康に気をつけて頑張ってください。



みなみよしだ利用者
小川 文弥さん

利用者さん

私の元気の秘訣



さわらび利用者
廣澤 くにさん

毎日楽しく過ごすことが大事

3年前から、月の半分は「泊まり」、それ以外の月・水・土曜は「通い」で、さわらびを利用しています。お蔭さまで、体の調子は良くなりました。職員の方には、本当にお世話になってばかりで、感謝しています。

日ごろから健康には気をつけていますが、やはり“毎日楽しく過ごす”が大事です。子供たちには感謝しています。私の趣味は三味線で、甘いものが何より大好きです。



吉田訪問看護ステーション
訪問看護師
小越 弘子

日々、ワクワク・ドキドキ

住み慣れた自宅で、その人らしく暮らし続けることができるように、医療面の支援を行っています。日々ワクワク・ドキドキで、訪問看護の醍醐味を感じています。いろいろな方を訪問させてもらい、看護を提供しているはずの私が、逆にエネルギーをもらったり、その人の生き方を教えてもらったりしています。私の好きなことは、眠ること。

職員

私のモットー

一人ひとりに寄り添う保育

こども園は、子どもたちの明るく元気な声が聞こえてくる“おひさま”のような所です。私は今、子ども一人ひとりに寄り添うことを大切にしています。性格や好きなこと得意なことはみんな違うと思うので、「個」にしっかり目を向けるようにしています。特技は学生時代にやっていたバレーボールです。



きららおひさま
こども園保育教諭
星野 希



太陽の園介護員
久住 有輝

笑顔を絶やさないように

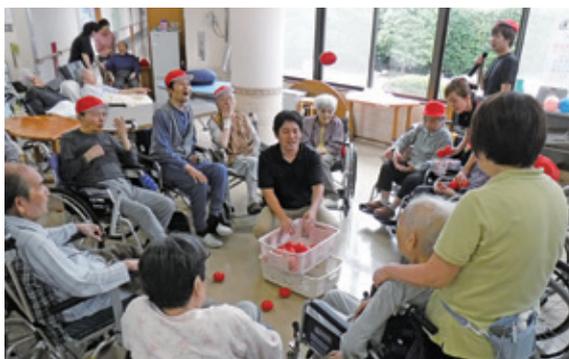
太陽の園は、スタッフ・利用者さんともに元気で明るく、毎日が楽しい職場です。私は常に、利用者さんが笑顔で暮らせるように考えて、ケアを行っています。今、何を考えているのか、何を求めているのか、その人にあったケアを行うため、毎日、考えながら行動しています。私の趣味は、ドライブ、ツーリング。

家庭のような長善のさと

長善のさとの利用者さんたちはとっても元気です。職員が私服で仕事をしているので、家庭に近いような親しみやすい雰囲気です。また、調理をしているときに味付けのアドバイスもいただきます。利用者さんはみんな人生の大先輩なので、“長善に来て良かったわ”と、笑顔で過ごしていただけるように心がけています。私の癒しは、3歳と5歳の子供と過ごす時間です。笑顔を見ると心がリフレッシュされます。



長善のさと介護員
平野久美子



太陽の園

- 10月、みんなで運動会。玉入れの時間です。「え〜い」と真ん中の籠に向かって、みんなで力いっぱい玉を投げ入れました(右)。
- 忘年会で職員が、かくし芸を披露。サッと赤い布を取ると拍手喝采、練習の成果が発揮できたかな(左)。



ひまわりの園

- 11月に国上・寺泊方面へドライブに行った時の様子。
- シーサイドラインをドライブして、みんなが幸せになりますように「幸せを呼ぶ鐘」を鳴らしました(右)。
- 国上山の「こころカフェ」でスイーツを食べた後の展望台からの眺めは最高でした(左)。



きららおひさま こども園

- 「いらっしゃいませ〜☆」、「ポテトひとつください♡」、お店屋さんごっこは、とっても楽しかったです(右)。
- 天気の良い日は、おひさまに誘われて近くの親水公園に行きました。お友だちと一緒にだと、楽しくてみんな笑顔があふれます(左)。



きららにこにこ 保育園

- きららにこにこ保育園の子どもたちは、みんなお外が大好き。青い空が見えると、外に駆け出します。砂のトンネルを作ったり、スコップを持って「弥彦山をつくろう!」と元気いっぱい。どんな弥彦山ができるか楽しみです(右・左)。





さわらび

● 9月、さわらびの庭に植えた「枝豆」の収穫。「豆ごはん」や「ずんだ餡」もいいな！と考えながらもぎました(右)。●利用者さんと職員が作った作品を北地区カーニバルに展示。メインは花も葉も全部折り鶴の『鶴菊』。弥彦の菊祭りに負けてないと好評(左)。



あさひ

●「さ～て、お昼のまんま作らんば～ね」年季の入った「100歳のお米とぎ」を見て下さい、お見事でした(右)。●琴の訪問がありました。自ら琴を弾いた利用者さんもいて、ビックリ。目にする耳にする美しいものに、みんな癒されていました(左)。



みなみよしだ

● 8月、太陽の園の夏祭りへ行きました。くじ引きで見事「サンちゃん賞」をゲットし二人は大喜び。強運の持ち主ですね(右)。●10月、大好物のお寿司を食べに回り寿司へ行ってきました。大好きな白身のお寿司をお腹一杯食べました。おいしかった(左)。



長善のさと

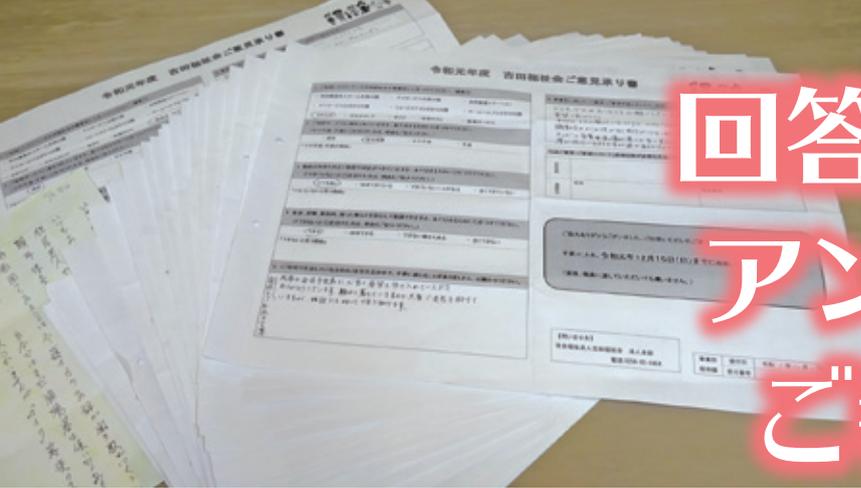
●寒空の中、弥彦神社まで菊まつりの見学に出発。寒さが心配だったけど、やっぱり来てよかった～！(右)。●グループホーム家族交流会。ゲーム等々で交流を図り、最後はご本人からご家族へミニアルバムをプレゼントしていただきました(左)。



児童クラブきらら

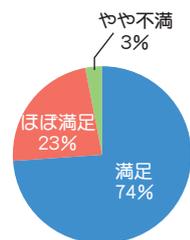
●「ほら見て～！崩れないでしょ～！」カプラやドミノを積んで楽しむ子どもたち。将来は立派な建築士誕生も夢ではない(右)。●自分たちで育てた野菜を使ってカレーを作りました。2年生は皮むぎ、3年生は切る担当でみんな一生懸命頑張りました(左)。

回答いただきました アンケート結果を ご報告いたします。

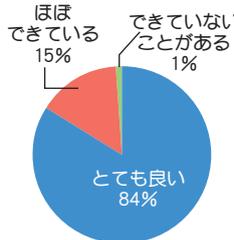


太陽の園をはじめ
すべての介護・
配食サービスの
利用者の皆さんからの
アンケート

問 ご利用サービスに「満足」されていますか？



問 職員は、気持ちのいいあいさつや対応ができていますか？



問 苦情や困ったことなどを、安心して相談できますか？



●令和元年度利用者アンケート

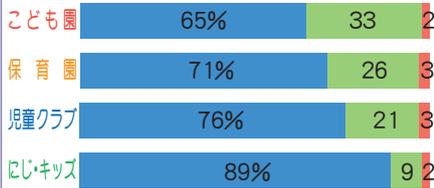
- ・配布数 517名
- ・配布 令和元年11月18日
- ・回収 令和元年12月15日
- ・回収数 145名
- ・回収率 28.0%

きららおひさまこども園
きららにこここ保育園
児童クラブ、にじぐみに
にじぐみキッズの
保護者の皆さんからの
アンケート

《こどもの様子について》

■「はい」 ■どちらかといえば「はい」
■いいえ ■どちらかといえば「いいえ」

問 ・お子さんは楽しく過ごしていますか？

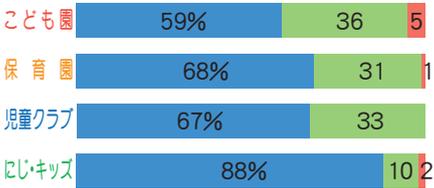


問 ・職員を信頼して施設になじめていますか？

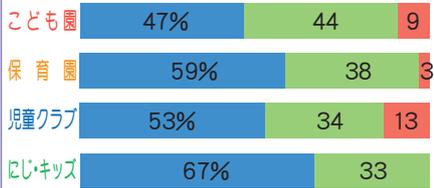


《運営状況について》

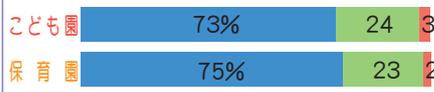
問 ・職員はお子さんに笑顔で接していますか？



問 ・保育環境整備のため、施設改善等が適切に行われていますか？



問 ・給食メニューは充実していますか？

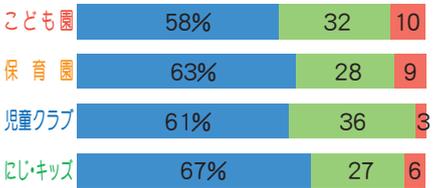


問 ・安心して児童クラブに預けられますか？



《情報の提供について》

問 ・園だよりや掲示板などのお知らせはわかりやすいですか？



問 ・先生や指導員との間で、情報交換が行われていますか？



●令和元年度保護者アンケート

- ・配布数 557名
- ・配布 令和元年11月8日
- ・回収 令和元年11月25日
- ・回収数 299名
- ・回収率 53.7%

- ・皆さん優しく良くしていただき感謝しています。家族も安心で、とても助かります。
- ・デイサービスから帰ってくると、よくしてもらってよかったと喜んで帰ってきます。急な要望にも対応していただき感謝しています。
- ・職員の横のつながりも行き届いており、安心して楽しく利用させていただいています。
- ・幅広い事業をされているので、他のサービスを受けたいと思った時アドバイスいただき助かったことがありました。
- ・介護については、いろいろな場面で話題になりますが、吉田福祉会のきめ細かな運営の素晴らしさを感じています。今後とも利用者に寄り添い、誇りをもって、“ワンチーム”で頑張ってください。
- ・職員さんの送迎時のあいさつが、あまりにも素晴らしく感激です。気持ちがいいものです。いつもありがとうございます。
- ・帰りに「また明日ね」と声をかけてくださることが、とても嬉しく感じます。



- ・いつも、おいしい弁当をありがとうございます。配食サービスをお願いしてから、血糖値も落ち着き、私が仕事で遅くなってもおいしく食べているので、安心できるようになりました。これからも継続していただきたいと思っています。
- ・妻の入院から始まった一人暮らし。食をどうするかが一番の悩みでしたが、配食サービスを利用することで解決しました。ありがとうございます。
- ・配食サービスのおかずにリクエストです。肉団子がとってもおいしいので増やしてほしいです。
- ・職員の異動が頻繁にあります。認知症の高齢者にとっては、見慣れた顔が安心できる環境だと思います。慣れ合いは良くないと思いますが、ある程度知っている方にいてもらうと安心です。
- ・職員の異動と新しい人になったとき、申し送りができていないときがあります。
- ・利用中に変わったことがあったら、連絡帳に記入してもらおうと助かります。
- ・職員の名前が覚えられないので、大きな名札をつけてもらいたいです。



～ 自由に記入していただいた意見等から抜粋 ～

《きららおひさまこども園》



- ・いつも子供が楽しく過ごさせてもらっています。先生方にもよくしてもらっています。感謝しています。
- ・いつも助かっています。これからもたくさんの子どもの笑顔が続くように願っています。
- ・給食がおいしいようで、楽しみにしています。サンプル表示はとても良いと思います。レシピを教えてください。
- ・玄関での写真スライドショーは、園での様子がわかるので続けてほしいです。
- ・子どもも慣れたと思ったら、年度途中でクラス担任が退職、変更になることが今まで何回かあった。事情はあると思うが、責任を持った人選、対応してほしいです。
- ・迎えの時、駐車場にスペースがあるのに道路に駐車する人がいるので注意していただきたい。
- ・きららロードのマナーが、あまりよくないと感じることがあります。玄関前に逆から入り、何台か止まっているときがあり危険だと思います。
- ・きらら祭りや運動会など園の行事が、第1土曜日に集中していますが、第2や第3では難しいのでしょうか。
- ・漢字学習より、英語、日本語学習に力を注いでほしい。
- ・送迎時、ほとんど担任の先生がいない。先生方が働きやすい職場になるように人員などをよろしく願いしたい。
- ・玄関の防犯対策、不審者が出入りしにくい対策をぜひともお願いします。

《児童クラブきらら》

- ・毎日とても助かっています。お友達といろいろ遊ぶのが楽しいようで、どんな遊びをしたのか毎日教えてくれます。ただ、迎えに行ったとき、玄関に先生を呼ぶチャイムがあるととても良いと思います。
- ・いつも楽しい行事や体験をさせていただきありがたいです。
- ・人数が多いので、教室が狭く感じます。

《きららにっこ保育園》



- ・開園当初は先生方に余裕がなく、笑顔もあまり見られませんでした。今では安心して子供たちをお願いしています。若い先生たちも一生懸命に頑張っています。
- ・子どもたちは、毎日とても楽しく保育園で過ごしています。お休みの日でも、「保育園に行きたい!!」と言うほど大好きなようです。
- ・先生たちが笑顔で生き生きとしているので、子供を安心して任せられます。ありがとうございます。
- ・お迎えの時など、園での様子をこちらから聞かないとあまり教えてもらえないので、少し寂しいです。
- ・延長の迎えでは、担任に会えることがかなり少なく、園での様子が聞けません。もっと普段の様子を教えてもらえるとありがたいです。
- ・プランターの花植えや園庭の草取りなど親子の活動があると、子どもたちも保育園を大切にしたり親しみを持てると思います。
- ・園で流行っている病気や用意しなくてはならない物の連絡は、早めにしてもらうと助かります。
- ・希望保育の申込書を配布してもらいたい。
- ・駐車場で立ち話をしている保護者がいて危ない。
- ・駐車場から園庭への入り口が、雨の日などはどろどろの水たまりになってしまうので何とかしてください。



《にじくみ、にじくみキッズ》

- ・自宅ではできない体験をさせていただきありがとうございます。製作した作品を持って帰ってくると、こんなこともできるんだ…といつも感心しています。
- ・子どもの成長がよくわかります。先生のことが大好きで、通うことを楽しみにしています。ありがとうございます。
- ・個人面談の時、いつもの様子がパソコン等を使い写真で見られるとありがたいです。

突撃インタビュー

太陽の園(栄養士兼調理師)神田 理沙さん



【目指す栄養士の姿】

利用者の皆さん一人ひとりの心身の状態に寄り添い、その方らしい生活が送れるように、栄養面の支援に関わり頑張っていきたいと思っています。

【自分のPRをひと言】

何事にも、コツコツと取り組むこと、そんな私です。

【好きなもの】

季節は「秋」、実りの秋で新米のおいしい季節だから。冬に向かって空気の澄んでくるのも好きです。食べ物は、「モンブラン」、甘いものは疲れをいやしてくれるので。そして、好きな言葉は「ポジティブ」、前向きな気持ちになれるから。

【栄養士になろうと思ったきっかけ】

中学生の時、いろいろな職業について調べる機会があり、そこで「食」にまつわる職業に興味を持ちました。

【働いてみて感じたこと】

勤めて7年。周りのスタッフの方々が、ていねいな指導とサポートをしてくれて感謝しています。みんな和気あいあいと明るい雰囲気です。



【日々、大切にしていること】

利用者の皆さんに、“おいしい”と言ってもらえるよう季節を感じるような献立を作成しています。さらに一人ひとりの嗜好に配慮した食事に日々心がけています。

ボランティアをありがとう

子育て支援センターきららで、毎月1回、保護者の方々にハンドマッサージや肩もみを行っています。とっても素敵な香りに包まれ、疲れた体を癒してくださいませ。



ハンドマッサージ (代表・田村真知子さん)



ギター弾き語り演奏 (鈴木貴子さん)

長善のさとの誕生会などで、ギターを演奏しながら、懐かしい曲や最新の曲まで歌を歌ってくださいました。利用者の方々も、拍手しながら楽しんで聞いていました。

皆さんの善意に感謝いたします!!

寄付物品

- ・匿名(3名) 紙おむつ、パット等
- ・アークベルチャリティ事業推進委員会さま 車イス1台
- ・(株)新印青果西部卸売市場さま、新印新潟中央青果(株)さま りんご、バナナ、ミカン

寄付金

- ・越後吉田ライオンズクラブさま
- ・横山ミツイさま

吉田福祉会のホームページでは、ブログや施設の様子など随時更新中！
携帯電話のQRコード読み取り機能を利用して、アクセスすることができます



吉田福祉会 TOP



吉田福祉会求人サイト

編集後記

陽だまり4月号にご協力いただきました皆様本当にいろいろとありがとうございました！デジカメ撮影の苦手な私はなかなか上手くいかず…。何度も撮り直しをお願いしたりして申し訳ありませんでした。これから勉強していきます！さて気持ちも新たに新年度がスタートしました。私の新たなスタートといえば、この春高校に入学した娘のお弁当作りです！「明日は何にしよう？」しばらくは頭の中がそのことばかりになりそうです。

施設の利用者さんを取材させていただいた。元気の秘訣は…と聞くと、微笑みながら、“何でも食べ、贅沢しない。みんなにありがとうと感謝して過ごすこと”。そのひと言は、ごく当たり前のことだが、長く人生を過ごした方の言葉は重かった。今の世の中、この当たり前が忘れ去られている気がする。感謝、あいさつ…。素直な心で受け止め、心に刻みこんだ。

施設一覧

太陽の園	吉田法花堂	☎92-3339	きららおひさまこども園	吉田東栄町	☎78-7804
ひまわりの園	吉田大保町	☎92-0751	きららにじくみ		
ひまわりの園相談センター	吉田大保町	☎94-7676	きららにじくみキッズ	吉田東栄町	☎77-8817
さわらび	佐渡山	☎92-0100	児童クラブきらら		
あさひ	吉田旭町1	☎78-7510	きららにここ保育園	吉田西太田	☎78-8025
みなみよしだ	吉田西太田	☎92-3340	あったかハート	吉田法花堂	☎94-7010
長善のさと	粟生津	☎77-8668	法人本部	吉田大保町	☎93-6464